総研化学物

リスク管理研究センター るリスクにどう向き合う どう考え、室蘭で処理す 西準子センター長に聞い の第一人者である、産業 べきかー。環境リスク論 不安の声もある。市民は 所では事故も発生した。 技術総合研究所化学物質 (茨城県つくば市)の中 「本当に安心なのか」と (聞き手・関口裕士)

儲

たが、日本環境安全事業 な処理を前提に受け入れ

(JESCO) の他事業

ポリ塩化ビフェニール

一年後に室蘭で始まる

業。室蘭市と道は、安全

(PCB) 廃棄物処理事

始まります。

でPCB廃棄物の処理が

行ったように、今残るP 場で一九八〇年代後半に

の使ったPCBは自分た

す

ちの地域で』という方が

-JESCOの豊

理解が得られやすい。そ

入れられたんでしょう」 の点でも化学処理が受け

提が崩れた格好です。 故があり、安全という前 田、東京の両事業所で事

CBも焼却処理すべきだ

来年十月から室蘭

ければいけません」 投棄されたものもある。 る蓄積性があり、生物濃 体のリスクとして考えな **事故がなくても環境中に** 行方不明になったり不法 二十年以上処理できず、 栖も進む。 製造中止後も に重要です。 PCBには れているんです。国全 八間の体内に何十年も残 「PCBの処理は非常 安全あり得 恐らく事故も少なかった ったとの声があります。 「その方が良かったし

-兵庫県高砂市の工 を避けるには『自分たち も解決しないと思いま の重さを認識している人 ともっと大きなリスクに す。環境問題につきもの た化学処理の本来の利点 の『総論賛成、各論反対』 は小規模で済むことで た。 JESCOの採用し う原則もねじ曲げられて 元の理解を得られなかっ な理由を説明できず、地 砂で処理するのか、正当 でしょう。ただ、なぜ高

始めるとまた止まってし いますが、理想論を言い 域のものは地域で』とい 済合理性は乏しいし『地 たことは評価したい。経 思いませんが、進み始め 「化学処理が最善とは タの改ざんなどの不祥事 「大企業で事故やデー

をなぜするのか、なぜ室

ーリスクがある処理

うのはうそでしかない」

は同じ問題だと思いま が相次いでいますが、根 す。JESCOも社長さ

のPCB問題はいつまで まう。今回を逃すと日本

んの理念は美しくても、

Bの処理に着手すること を付けられなかったPC わるかどうか。三十年手 下請けの運転会社まで伝 蘭なのか、という議論も

しそのリスクを放置する ぜ、という意見には『も あります。 「リスクがあるのにな

Bの場合、リスクが限り から』と答えます。PC なくゼロに近い処理方法 さらされるかもしれない

備事 え必要 の

えておくべきです。『絶 のではなく、起きた場合 が絶対起きないと考える と。ただ、そもそも事故 に作業してもらわない 対安全』はあり得ません にどうするのかを常に考 地元は「絶対安全」 ですね。どこかの地域が CBにさらされる危険の 不法投棄や行方不明のP せの保管を続けるなら、 の開発を待ち、事業者任 方が大きくなります。 方、なぜ室蘭かは難しい リスクを背負わなければ

教授、横浜国大

大学院環境情報研究院教 授などを経て2001年から 現職。著書に「水の環境戦 略」「環境リスク学 の海の羅針盤」など。

の後に『絶対安全はない』 を求めたくなります。 「当然です。ただ事故 難しい」 地域が、と納得するのは いけないことは理解して も、自分が、自分の住む

なかにし・じゅんと 1938年中国・大連市生ま 61年横浜国大工業化 学科卒、67年東大大学院 了。東大環境安全研究

えて」と話す中西さん 「事故が起きた場合の対応を常に考

> るべきでした。ゼロリス 以上、100%安全とい ません。有害物質を扱う クを要求すべきではあり 対安全はない』と説明す が、事故がなくても『絶 と言うのは責任逃れです | 事業者の現みを伝えた い」と理解を示した。

見込み。 業界は本年度の費用負担 額が二年前と比べ年間約 価格の高騰で、国内海運 ほぼ同様の負担増となる 60%増、トラック業界も 同支局によると、原油